

ふるさと常葉会 総会 設立 30 周年を祝う

関東地方の常葉町出身者で作る「ふるさと常葉会」の第30回記念総会が7月10日、東海大学校友会館（東京都千代田区）で開かれ、会員、来賓、市関係者合わせて約100人が出席しました。

白岩常志会長が「節目の30周年を迎えることができた。皆さんに感謝したい。古里の発展に役立つ活動をしていこう」とあいさつし、富塚市長、市の姉妹都市である中野区の田中大輔区長、本田仁一福島県議会議員、土屋省一市議会議員が祝辞を述べました。会議では、八ツ場ダム見学、中野区のイベントへの参加協力などを盛り込んだ28年度事業計画を採択。30周年記念事業の常葉幼稚園へのソメイヨシノ植樹や、30年間の活動について報告があった後、会の発展に功績のあった白岩正通さん、渡辺進さん、谷合キクノさん、佐藤スイ子さんに感謝状が贈られました。また、役員改選では新会長に渡辺英雄さんが選出されました。



懇親会では、常葉町出身の佐藤道弘さんが津軽三味線で力強い演奏を、常葉町在住の佃光堂さんがすばらしい歌声を披露しました。出席者は和やかに歓談し、常葉盆おどりを踊ってふるさとに思いを馳せていました。

田村市長旗争奪ソフトボール大会

2部に分かれて熱戦

第11回田村市長旗争奪ソフトボール大会が7月17日、市運動公園で開かれました。市が合併して10年が経過したことを契機に、今年度から登録40チームを昨年度の成績によって1部と2部に分けました。今回は、1部登録12チームのうち6チーム、2部登録28チームのうち9チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

結果は下記のとおりです。

- 1部 優勝…和貢ファイターズ（滝根町、写真右上）
- 2部 優勝…都路イースト（都路町、写真右下）



田村っ子ゆめまつり

自然や科学とふれあう子どもたち

「田村っ子ゆめまつり2016」が7月17日、市役所で開かれ、約2,500人の家族連れなどが来場しました。このイベントは、「田村っ子の生きる力を育む会」（佐藤健吉会長）が震災や原発事故の影響で自然と触れ合う機会が減った子どもたちの生きる力を育もうと、2年前から毎年開催しており、今年で3回目になります。



（株）リコージャパンの企業貢献活動による「サイエンスキャラバン」では、自分で描いたモンスターキャラクターをスクリーン上で闘わせる「熱闘！紙バトル」や、自分で描いた絵がコースを走りレースを繰り広げる「激走！紙レーサー」が、子どもたちの人気を集めました。

その他にもポケモンワークショップ、木工クラフト教室、バルーンアート教室、むかし遊び体験、太陽観察会など多彩な催しで子どもたちは自然や科学とふれあい、楽しい一日を過ごしました。

スポーツ&カルチャー教室

ヨガで心と体を温める

28年度船引公民館事業の生涯学習スクール「スポーツ&カルチャー教室」として、ヨガ教室が7月13日と27日に船引公民館で開かれ、18人が参加しました。健康ヨガ教室代表の鎌田真理先生の指導のもと、受講生は心も体も温まった様子でした。



大町幸せのつどい

救命や熱中症予防を学習



船引公民館事業「大町幸せのつどい」の開講式と第1回学習会が7月12日、大町公民館で開かれ、大町長寿会の会員16人がAEDを使用した救命実技や熱中症予防について学習しました。参加者は田村消防署の職員のお話に熱心に耳を傾けていました。

都路 福寿草大学 いわき市で歴史を学ぶ

7月13日、都路公民館の福寿草大学はいわき市で移動学習を行い、37人が参加しました。国宝の白水阿弥陀堂を見学すると、浄土庭園内では蓮の花が見頃を迎えていました。平安時代後期の代表的な阿弥陀堂建築と調和したその優美な姿に感動するなど、参加者にとって思い出に残る一日になりました。



文化財めぐり

常葉・都路をめぐる



7月4日、船引公民館事業「田村市の文化財めぐり」が行われ、19人が常葉・都路のお寺などをめぐりました。都路町の長岩寺では、渡辺宗貴住職に説明していただき、由来記などを見学しました。階段を何十段も登ったり、足場の悪い道を歩いたり大変でしたが、参加者は熱心に見学していました。

緑の少年団

緑小が県知事賞を受賞

7月28日、緑小学校の本多充校長、緑の少年団顧問の上野亜希子教諭、団長の石井遥さん（6年）、副団長の伊藤綾香さん（6年）が市役所を訪れ、緑の少年団福島県知事賞受賞を富塚市長に報告しました。今回は、桜の植樹や花の栽培、森林環境学習の継続的な活動などが評価されての受賞となりました。

